

魅力あるまちに変わります! 谷山地区連続立体交差事業 高架化完成



J R 慈眼寺駅



3月26日に高架化が完成し、J R 谷山駅・慈眼寺駅の新駅舎がオープンします。今回の特集では変わりゆく谷山地区の様子をお伝えします!!
【谷山都市整備課 269-2141 (FAX268-2602)】



谷山地区では、どんなまちづくりを進めているの?



谷山地区では、南北に走るJ R 指宿枕崎線の立体交差化と周辺の土地画整理事業を同時に行うことで、一体的なまちづくりを目指しています!

そもそも立体交差事業とは…

道路と鉄道が交差しているような所で、高架化、つまり鉄道をもち上げて踏切を取り除くことで、都市交通の円滑化を進めるものです

連続立体交差事業で、まちはどう変わるの?



踏切による交通渋滞や事故が解消されます!

鉄道の高架化により、15カ所の踏切が取り除かれ、自動車や歩行者などの通行がスムーズになります。(下図)



まちの一体感が高まります

鉄道による地域分断が解決され、まちがひとつになり、市民の皆さんの交流が深まることが期待されます。

便利で快適な駅になります

鉄道事業者の協力を得ながら、便利で利用しやすい駅前広場・駅舎を整備します。高架下は駐輪場などの公共空間としても有効活用されます。

※駅前広場・駅舎の詳しい内容は3面に掲載



地元の高校生にインタビューしたよ!



駅が新しくなるだけでなく、道路が広くなり、公園が整備されると聞いています。谷山全体が活気あふれるようなまちに発展していくと思うと楽しみです。



米山 直希さん (鹿児島南高校2年生)



西 星輝さん (鹿児島南高校2年生)

まちが、どのように変わるか楽しみだと友達と話をしています。自転車通学なので、いつもの道が広く快適に通れるようになることは嬉しいです。

★これまでの主な経緯

- 平成5年度 連続立体交差事業の可能性を検討
- 平成6～10年度 国・県と連続立体交差事業導入を協議
- 平成8年6月 市議会による「谷山地区のJ R 軌道の連続立体交差化を求める決議」
- 平成11年度 現地調査、設計など
- 平成16年度 中核市で初めての連続立体交差事業が認められる
- 平成18年7月 都市計画決定
- 平成19年12月 事業認可
- 平成20年2月 J R九州と基本協定締結
- 平成20年10月 起工式(以後、整備工事)
- 平成22年3月～25年6月 仮線切り替え
- 平成28年3月 高架化の完成、谷山駅・慈眼寺駅の新駅舎オープン

長い年月をかけて進めてきたんだね。



※工事の進行状況は市ホームページ内の「谷山連立」よりご覧下さい